

子育て支援研究会「びすけっとくらぶ」活動報告

初等教育科 渡 邊 はるか

1. 子育て支援研究会「びすけっとくらぶ」

令和4年、授業後の雑談の中で、学生とともに「子どもと直接触れ合いながら遊ぶことができる場が大学内にあるといい」という話題が挙がった。加えて、地域のつながりが希薄になった今、地域の子どもと子ども、保護者と保護者をつなぐ場所にしたいという話にもなった。このことが、地域の親子のつながりを作る遊びの広場を企画・運営する研究会「びすけっとくらぶ」の立ち上げのきっかけとなった。

立ち上げ当初は、9名であった研究会は、令和5年に新入生19名を迎えて28名となり活動を行っている。

主な活動は

○遊びの広場（大学内で実施）

○こども発達・子育て支援センター「なかよしひろば」保育ボランティア

であり、その他大分市能楽堂のイベントや別府市ビーコンのおんせん演劇祭inビーコンプラザ、本学のウィンターフェスティバル等のイベントへも参加している。

2. 活動内容

(1) 遊びの広場

チラシを作成し、地域の公民館や附属幼稚園の協力を得て配布を行った。

コロナ禍であることを考慮し、10組限定の募集となったが、地域の親子が喜んで参加してくださった。

当日の遊びの企画、準備、受付、進行、保育の展開、片付け等全て学生が行い、運営している。

最初は企画の段階で時間を取ったり、企画し

たことを実行に移す際の見通しを立てることに困惑したり等の姿もあったが、回数を重ねるごとに、見通しをもってスケジュールを立て、計画的に準備を進めていく姿が見られるようになった。

保育内容については、最初は子どもへの対応も緊張からかぎこちない様子が窺えたが、第1回の遊びの広場を終えた際に親子が喜んで帰っている姿を見て充実感を覚えたらしく、次への意欲や子どもたちに対応する際の笑顔につながったようで、第2回からは積極的に子どもたちに関わろうとするようになった。

【主な遊びの広場の内容】

～始まるまで随時「好きな遊び」をする～

①はじめのことは

②手遊び

③エプロンシアターやパネルシアター

④大型絵本

⑤制作やゲーム 等

⑥お土産渡し

⑦おわりのことは



魚釣りゲーム

(2) 子ども発達・子育て支援センター

「なかよしひろば」の保育ボランティア

社会福祉法人萌葱の郷豊後大野子育て総合支援センター子ども発達・子育て支援センター「なかよしひろば」からクリスマス会のボランティアの募集があった際、本研究会が参加したことが始まりであった。その際、ありがたいことに施設の方より、年間を通してボランティアの依頼をしてもよいかという話をいただいた。

なかよしひろばは、特別な支援を要する子どもと保護者が通う施設であり、本研究会としては保育ボランティアとして、子どもたちの支援にあたりたり、行事の手伝いを行ったりしている。

【主な行事】

- 夏祭り
- クリスマス会
- もちつき
- がんばり賞



「なかよしひろば」子どもへのサポート



「なかよしひろば」職員の皆さんと

3, 成果と課題

「遊びの広場」では、自ら企画・運営を行うことを通して、保育実践力に加え、企画力、実行力、協調性等が養われていると感じている。

また、保護者対応の大切さも学んでいることが窺える。この活動を通して地域の親子のつながり作りの大切さを感じるとともに、子どもや保護者を「支える」という意識を、今後も身に付けていってほしいと願っている。

「なかよしひろば」については、特別な支援を要する子どもに対する支援の具体的な方法や職員間の連携の在り方を学ぶことができる貴重な場をいただいている。子どもや保護者を「支える」ことがどのようなことかを施設の先生方の温かな姿から体験を通して学び、吸収している。施設の先生方への感謝の気持ちを忘れず、今後もいただいたご縁を大切にしていきたい。

＜学生の声＞

下郡 千佳

正直な気持ちとしては、「びすけっとくらぶ」を立ち上げた当初は、自分たちに企画や運営が出来るのか、子どもたちを笑顔にすることが出来るのかと不安でいっぱいでした。しかし、「遊びの広場」やボランティアなどを通して、研究会のメンバーと、どうやって保育を展開していくのかなど、一から計画を立てて全員が納得をするまで話し合いを重ねて活動に取り入れていきました。その結果、子どもだけでなく保護者の方々の笑顔も見ることができ、保護者の方から「毎回企画力がすごいですね。」という声を聞き、保育への自信に繋げることが出来ました。また、子どもたちと直接触れ合うことにより、手遊びやペープサート、エプロンシアター、絵本の読み聞かせ、制作のレパトリーが増えていったとともに、具体的な支援の手立ても学ぶこともでき、保育者としての経験を積むことが出来ました。

これらの「びすけっとくらぶ」の活動から、今後も保育の力をさらに伸ばし、地域との繋がりや支援の方法などを大切にしていきたいと考えています。